

山形日産グループ（山形市）

【次世代モビリティの積極提案と森づくりを通じた地域貢献】

山形日産グループは、電気自動車を普及させて地球温暖化に歯止めをかけること、自動運転化を促進することで交通事故を減少させることに取り組んでいます。

平成29年度からは「ニッサンの森」として、県、朝日町と協定を結び、森林保全活動に取り組んでいます。

令和2年度には、山形市、尾花沢市、酒田市、鶴岡市と災害連携協定を締結し、山形市では、市内の公民館にV2Hシステムを寄贈するとともに、災害等の停電時に、電気自動車から公民館へ電気を供給するシステムを構築しました。

また、県庁前に電気自動車用急速充電器を設置し、その運用と普及啓発活動を実施している他、自動車リサイクル部品を使用した「やまがた高校生ロボットコンテスト」の開催、自動車環境マイスター制度に積極的に取り組みエコドライブを普及する活動も行っています。



ニッサンの森活動集合写真



電気自動車を活用したまちづくり



山形市との災害連携協定



高校生ロボットコンテスト

(順不同)